

Book Review



動画で体感！

ステップアップ歯周外科 DVD ビデオ付 診断・手順・テクニック

安東俊夫 著



Reviewer

下川公一 Koichi Shimokawa
(福岡県・下川歯科医院)

A4 判変, 120 頁
定価 8,400 円
(本体 8,000 円+税 5%)
医歯薬出版刊



今、患者さんに対して術者の歯科治療概念をわかりやすく説明しておくことが重要となってきている。すなわち良く咬めて、美しく、丈夫で長持ちするような治療を行いたいということである。

『ステップアップ歯周外科』という書籍が医歯薬出版から出版されたが、著者は、私が尊敬する開業医の一人、安東俊夫先生である。先生とは約 18 年の付き合いとなるが、彼の臨床に対する考え方や生き方が好きである。彼はすべての分野に卓越した技術と知識をもっているが、歯周外科に対しては私も学ぶことが大変多い。

本書は、彼が今まで行ってきた歯周外科の症例を呈示してその臨床概念を解説しているが、私はこの本を目にしたときに何かしら熱いものが込み上げてきた。それは今、自分が失いかけている臨床への情熱を再びよみがえらせてくれたからに他ならない。歯周治療では、組織に問題が起こっている場合、何が必要なのかを的確に整理して

対処することが大切である。

歯肉歯槽粘膜、歯根膜、歯槽骨等それぞれに問題が存在している場合、エンド、ペリオ、咬合、審美に対するさまざまな治療を行っていかなくてはならないが、著者はそれらを実に手際よく行っている。それはその基本となる歯周外科がそんなに無理なことをすることなく確実にできるからであろう。

本書では、テクニックだけではなく患者さんに対する思いやりや、スタッフとのコミュニケーションなどがわかりやすく解説されている。今まで、これほどの臨床が長年にわたって継続して行われていることへの驚きもさることながら、スタッフとのチームワークのありかたが実に参考になる。さまざまな治療器具が紹介されているが、それらの利点を十分に理解して的確に使いこなすための整理整頓や教育なども紹介されており、すべてが合理的で読んでいて実にわかりやすい。

豊富な臨床経験の下に、切開線の入れ方や弁の作り方、移動の仕方等を呈

示し、針の特徴に合わせてホールド位置を決定する等、読めば読むほど臨床が楽しくなるような書籍である。

歯科開業医は 50 代からが、最も活躍できる条件が備わってくる。若いときに行った臨床の結果をふまえて、良い点はさらに発展させ、問題点は何が原因だったのかを探り、自分の臨床スタイルを確立させていくことができるのは 50 代からである。50 代を目前にした開業医に、もう一度自分の臨床を整理していただくためにも是非おすすめしたい書籍であるが、一方で開業して今から歯周外科を学び積極的に勉強していく歯科医師にはとっては、もってこいの書籍である。本書を読みながらその通りにやってみれば誰にでも同じ結果が得られるはずである。それほど、実に簡潔で丁寧でわかりやすい本にまとめられているので、ぜひ手元に置いて術前に目を通しながら手術をしていくとよい。そして手術中の DVD が付いているので術式が一目了然であり、おすすめの書籍である。